

事業の背景・目的

平成21年より開始された環境省ヤンバルクイナ飼育繁殖業務において、NPO法人動物たちの病院の取り組みで様々な施策が行われて一定の成果が得られている。その中で、ヤンバルクイナの生息地域内での飼育下繁殖事業において、飼育・飼育下繁殖技術も一定の成果を得られているが、施設が1か所のみになり、感染症や自然災害等々による飼育下個体群の喪失が危惧され、危険分散の必要性が指摘されてきた。指摘されているリスクを回避する目的で、現在の飼育下個体群を他の地域に分散することにより、これまで沖縄県内で傷病野生鳥獣救護やその長期飼育・繁殖技術を有する当財団が分散飼育を行う。

事業の内容

事業① 飼育技術向上・データ収集分析事業

- ・ヤンバルクイナ飼育繁殖マニュアル(那覇自然環境事務所)に準じながら、適切な飼育管理ができるよう、先進の鳥類飼育専門家を招聘し講演と情報交換を行い、飼育員の技術向上に努める。
- ・飼育下繁殖に関する科学的データを収集・解析し、ヤンバルクイナの保全に寄与する。

事業② 普及啓発事業

- ・生息域内の自治体と協力し、ヤンバルクイナの現状について県内外に普及啓発を行い、生息域内保全の推進に資するイベントを企画・開催する。SNSのライブ配信や、ZOOMなどの活用で、より多人数の方に普及啓発を行う。
- ・普及啓発はやんばるの自然環境保全を含めた内容とする。

事業③ 飼育事業

- ・専用の飼育施設で、ヤンバルクイナ保護増殖事業における飼育個体群の個体を飼育し、分散飼育に取り組む。

得られた成果

事業①については、保護増殖事業にも取り組んでいる鳥類専門家を招聘し講演会と情報交換・指導を受けた。また、ヤンバルクイナ導入後はNPO法人どうぶつたちの病院沖縄と月例ミーティングを行い情報交換と技術指導を受けた。

事業②については、NPO法人どうぶつたちの病院沖縄と共同で、オンライン講演会を行った。また、園内に常設掲示するポスターや配布用ステッカーを用意した。

事業③については、♂2♀1羽の飼育下繁殖個体を導入し、飼育を開始した。当面原則非公開とし飼育を行っているが、環境変化による影響も見られず、順調に飼育している。一部趾瘤症初期症状がみられるため、獣舎内の土壌の改良等を行いながら経過観察中である。